



直撃インタビュー
プロ野球選手(福岡ソフトバンクホークス)
たかはし じゅんぺい
高橋 純平さん
福岡ソフトバンクホークス
背番号47
1997年 岐阜市生まれ
岐阜市立梅林小学校
岐阜市立梅林中学校
岐阜県立岐阜商業高等学校 出身
WBSC U-18ワールドカップ日本代表
(2015年)

岐阜市出身の高橋純平さんは、小学2年生の時に野球を始め、高校野球での活躍のち、2015年にドラフト1位で福岡ソフトバンクホークスに入団しました。今年、成人式を迎えた高橋さんに、中央青少年会館で話を聞きました。

野球を始めたきっかけは?

父親も祖父も野球をしていて、野球をすることが自然な家庭でした。幼いころから、梅林小学校のグラウンドで、父とよくキャッチボールをしていましたが、その様子を見た野球の少年団のコーチが声をかけてくれて、小学2年生の時に入団したことがきっかけです。



野球を通して学んだことを教えてください。

野球はチームスポーツなので、周りの人の支えがないとできません。「みんながいるおかげで自分があるんだ」という感謝の気持ちが大切だと学びました。また、高校では、野球をしているときだけではなく、「日常」がしっかりしていないと、野球でも勝てないと教わりました。だから、いつでも周りの人を大切に、まじめに生きようと思っています。

進路を決めていくときにはどのような思いでしたか?

高校を決める時には、「野球をする」という大前提がまずあって、次に「岐阜県を熱くしたい、盛り上げたい」という思いが強くありました。だから、県外からの誘いもありましたが、はじめから県内の高校と決めていました。

つらかったことは? そしてそれを乗り越えることができたのはなぜですか?

やっぱり練習はきついです。なかでも自分が理解できない練習メニューをすることはつらいです。だから、走るときも、筋トレをするときも、自分が今している練習にどのような意味や効果があるのかを考えたり、コーチに聞いたりしています。また、つねに試合に近いテンションと動きで、一つ一つの練習の質を高めていくようにしています。同じ10球でも、ただ数を投げるだけでなく、打者3人と対戦しているという意識で投球練習をしています。他にももうまくいかないことはありますが、つらいからといって、野球という競技をやめようと思ったことは、今まで一度もありません。野球をしていない自分は自分ではないと思っています。

プロ野球という世界は どうですか?

プロ野球は、試合は華やかですが、練習はすごく地味です。そして、当たり前かもしれませんが、野球そのもののレベルがすごく高いです。プロの先輩からは、練習態度や試合のマウンドさばき、体のケアまで学ぶことがたくさんあって、毎日、勉強することばかりです。球団の仲間は、競い合うライバルでもありますが、互いに教え合い、高め合っています。

好きな言葉や座右の銘を教えてください。

小学生の時、野球部のキャプテンにもなったキーホルダーに書かれていた「努力に勝る天才なし」という言葉です。そのキーホルダーは、高校の通学かばんにずっとつけていました。努力は何歳になっても続けないといけないと本当に思っています。

岐阜市の子どもたちにひとことメッセージをお願いします。

将来の夢や目標を、できるだけ早めに決めておくといいと思います。目標をもつことで、がんばれます。まだ夢が決まらないという人は、今自分が好きなことや楽しいと思うことに、継続的に取り組んでいくといいと思います。もう一つは、今、身近にいる家族や周りにいる人たちを、大切にすることです。身近にいられることは、決して当たり前なことではありません。だから、今の自分の持つ100パーセントの力で大切にしてください。

一つ一つの質問に丁寧に答える高橋純平さんの表情や言葉から、野球にかけた強い思いや誠実な人柄が伝わってきました。インタビューの終わりに、高橋さんは「ぼくにとって、今年は勝負の年です」と力強く語ってくれました。プロ3年目を迎える高橋さんのさらなる活躍が本当に楽しみです。(写真:家族提供)



平成29年度 家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう! (我が家のルール)」

平成29年度 家庭教育啓発市民運動
「決めて、守ろう! (我が家のルール)」作品審査結果

- 募集期間: 平成29年9月~10月
- 募集対象者: 市内小学校5・6年生児童及び中学校1年生生徒
- 募集内容: 「我が家のルール」とそれに関する家族の様子や思いについての作文
- 評価: 「我が家のルール」と作文の内容で総合的に判断
- 応募総数: 3,593点
- 応募学校数: 47校(小学校34校、中学校13校)

賞	学校	学年	氏名	我が家のルール (作文の題)
優秀賞	本 荘 小	5年	青木はるわ	「○○ぽはなし」をやめよう
優秀賞	梅 林 中	1年	吉村 栞	朝、今日の目標を言って、一日のスタート!
優良賞	且 格 小	5年	大平 智司	ご先祖様に見守られて
優良賞	岩野田北小	5年	福井 梨央	トイレトペーパーを三角に折ろう。
優良賞	鷲 山 小	6年	坂口 晴香	「ありがとう」のやり取り
優良賞	西 郷 小	6年	山本 美空	我が家の「会議」
優良賞	岐 北 中	1年	杉山ななか	とげとげ言葉はいけない。
優良賞	陽 南 中	1年	石樽 桃子	10分ルール
佳作	鷲 山 小	5年	武藤 空来	大切なパスデーカード
佳作	長 森 西 小	6年	宮崎香里奈	夕食は家族タイム!
佳作	且 格 小	5年	近藤陽菜多	いつもありがとう
佳作	長 良 小	6年	竹村 英祥	決めてよかった我が家のそうじルール
佳作	則 武 小	6年	小間 楓華	おやすみタッチ
佳作	日 野 小	6年	加持 楓花	お風呂洗い

優秀賞
吉村 栞 (梅林中学校 1年)
我が家のルール
「朝、今日の目標を言って、一日のスタート!」
私の家族のルールは、朝のあいさつの次に、それぞれ「今日の目標を言うこと」です。中学生になっても、心を学んでから、一日一日目標をもつて過ごすことが大切なんだと思えました。なので、朝、家族みんなで、今日の目標を言います。その目標を、少しづつ覚えていって、元気が出ない日も、「がんばろう!」と思うし、家族からも励ましの言葉が、やる気が出ます。これからも続けて、家族全員で「ベスト」の生活を送りたいと思います。

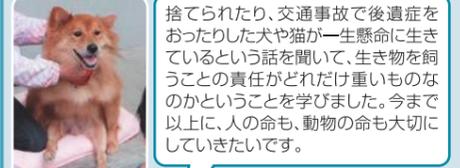
優秀賞
青木 はるわ (本荘小学校 5年)
我が家のルール
「○○ぽはなし」をやめよう
我が家は、「○○ぽはなし」をやめようという合言葉があります。例えば、「○○に入る言葉は、(○)はなし、(○)はなし、(○)はなし、(○)はなし」といいます。私がよく注意されるのは、ランドセルの置きっぱなしです。低学年のころは、よく玄関に置きっぱなしにして、おっつけられていました。しかしルールを守ることができたので、「○○ぽはなし」をしないことができました。でもまだ、家族それぞれ、「○○ぽはなし」のことがあるので声をかけ合って、「はなし」が家からなくなると心がけようとしています。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。「家族でふれあう時間を大切にしましょう!」

中央青少年会館 講座レポート!

地域貢献スキルアップ講座 (中高生)

10/28 生き物には生命がある。いぬとねことひとのきもち



11/25 車いすバスケットで「岐阜 SHINE (シャイン)」と交流!



「岐阜SHINE」のみなさんが生き生きとプレーする姿を見て、障がいのある方のイメージが変わりました。不自由なことがあっても、ほくも与えられた環境のなかで精一杯取り組むことを大切にしたいです。

今号は、egg50号を記念して、「中央青少年会館」を特集しました。会館の名前にある「青少年」とは、小学生から大人まで、幅広い世代を指しています。そして、会館利用の仕方も、自習からダンスまで幅広く、みなさんのアイデア次第です。まずは、一度立ち寄ってみてください。また、eggについても、「こういふ記事をのせてほしい」「あの日に直撃インタビューをしてほしい」などのアイデアがあったら、ぜひ教えてください。100号に向けて、地域活動の活性化に役立つ、よりよい紙面づくりをめざしていきます!

第50号 平成30年2月15日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会
中央青少年会館
〒500-8813 岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134



特集
中青においでよ!
egg50号記念!

eggのホームページにアクセスしよう!
デジタル egg 検索
岐阜市ホームページ <http://www.city.gifu.lg.jp/>

vol.50
2018.冬号
岐阜市発
情報発信誌